

国語

の

鍛

練

レベル

4の2

◆練習問題

① —— 「あすこの小屋」とはどのような場所ですか。後の文の□に  
ちようどあてはまる言葉を書きぬきましよう。

そら、僕はとちゅうで六十五回いねむりをして、その間  
考えたり笑ったりして、夜中の一時に岩手山のちようど三  
合目についたろう。あすこの小屋にはもう人がいないねえ。  
(『風の又三郎』宮沢賢治)

□

□

にある小屋。

② —— 「それ」とは何のことですか。後の文の□にちようどあては  
まる言葉を書きぬきましよう。

ゴーシユはセロを床へ置いて戸だなからパンを一つまみ  
むしって野ねずみの前へ置きました。

野ねずみはもうまるでほかのようになって泣いたり笑っ  
たりおじぎをしたりしてから大じそうにそれをくわえてこ  
どもをさきに立てて出て行きました。

(『セロ弾きのゴーシユ』宮沢賢治)

ゴーシユが置いた一つまみの  
□